

・全世界:新型コロナウイルスの流行状況

新型コロナウイルスの累積感染者数は 9 月下旬までに約 3200 万人、死亡者数は約 100 万人になっています(米国ジョンホプキンス大学 2020-9-26)。1 か月前に比べて累積感染者数は約 1000 万人増えており、新規感染者数も再び増加しています(WHO Corona virus disease 2020-9-21)。地域別ではアメリカ、ブラジル、インドで感染者発生が多く、インドでは 10 万人近くが発生する日もあります。ヨーロッパでも流行の再燃がみられており、スペイン、フランス、英国などでは、3 月の第 1 波を越える感染者数が報告されています。こように北半球の温帯地域では流行が再燃している模様で、今後、冬に入り感染者がさらに増えることが懸念されています。

日本政府は、感染状況が落ちついている国との 2 国間協定により、ビジネス渡航の再開を図っています。この協定による渡航の再開は既にベトナム、タイ、シンガポールなどとの間で行われています。

https://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/cp/page22_003380.html

・全世界:世界のポリオ流行状況

WHO は 8 月 25 日にアフリカから野生株のポリオウイルスの流行が根絶されたことを発表しました(WHO Africa 2020-8-25)。これで、野生株の流行国はパキスタンとアフガニスタンの 2 か国のみになりました。一方、ワクチン由来のポリオウイルス(ワクチン株)の患者は世界各地で発生しており、アジアでは中国、フィリピン、マレーシア、インドネシア、パプアニューギニア、ミャンマーなどで確認されています。米国 CDC や日本の外務省は野生株の流行地域はもちろんのこと、ワクチン株の流行地域に滞在する際も、ポリオワクチンの追加接種を受けておくことを推奨しています(米国 CDC 2020-8-28、外務省安全センター 2020-9-1)。

・アジア:アジアでのデング熱流行

シンガポールでは今年のデング熱患者数が 9 月までに 2 万 8000 人にのぼり、例年にない大流行となっています(WHO Western Pacific 2020-9-24)。死亡者も 20 人確認されています(Outbreak News

Today 2020-8-29)。一方、それ以外の東南アジアの国々では患者数が例年よりも少ない状況です。

台湾では台北周辺の桃園で、8月末までにデング熱患者が14人発生しました(Outbreak News Today 2020-9-1)。台湾では南部だけでなく、北部でもデング熱への注意が必要です。

・アフリカ:コンゴのエボラ熱流行

コンゴ民主共和国北西部にある赤道州で6月からエボラ熱の流行が発生しています。8月中旬までにMbandakaなどで患者数は120人以上にのぼり、うち50人が死亡しました(WHO Africa 2020-9-20)。流行の中心にあるMbandakaは河川輸送のハブであり、周辺地域への拡大が懸念されています。

・ヨーロッパ:イタリア、フランスでデング熱発生

イタリア北東部のピチェンツァで海外渡航歴のないデング熱患者が発生しました(Fit For Travel 2020-9-15)。フランスのニースでも9月になりデング熱の国内流行が発生しています(Fit For Travel 2020-9-15)。イタリアやフランスでは新型コロナウイルスの流行で蚊の対策が停滞しており、その影響がデング熱の国内流行に関与しているようです。

・ヨーロッパ:ドイツでダニ媒介脳炎患者数の増加

ドイツのダニ媒介脳炎の患者数が9月上旬までに535人になりました(Outbreak News Today 2020-9-11)。例年よりも約10%多い数で、患者は南部の州で増えています。新型コロナウイルスの流行により屋外で過ごす人が増えていることが、患者数増加の原因の一つと考えられています。

・南半球:季節性インフルエンザは流行せず

今年の南半球の冬は9月でほぼ終わりましたが、季節性インフルエンザの流行は発生しませんでした(WHO influenza 2020-9-14)。オーストラリア、ニュージーランド、アフリカ南部では流行がほとんどみられず、南米ではアルゼンチンでB型の流行がわずかに発生しました。流行しなかった理由としては、新型コロナウイルスの予防対策がインフルエンザの予防に役立っているという説や、ウイルス同士の干渉がおきているという説が考えられています。